

拡張された場におけるアートマネジメント人材育成事業「状況のアーキテクチャー」2017

テーマ1《物質》Transferring Matter: 創造的アーカイブ プロジェクト1「物質+感覚民族誌」成果発表展

# 移動する物質——十字路としてのアフガニスタン

2018年2月17日(土)–3月4日(日)

11:00–19:00 (月曜休館)

入場無料

1

## 佐藤 知久 《ふつうの展示》

緑釉刻文小鉢、イスタリフ、陶、H 4.4 cm W 8.6 cm D 8.6 cm

白地彩釉鉢、イスタリフ、陶、H 7.0 cm W 26.3 cm D 26.3 cm

頸飾り、ヘラート、ガラス、H 108 cm

割り鉢、ジャレーズ、木、H 6.3 cm W 15.7 cm D 15.7 cm

割り物用バイト、ジャレーズ、木、L 61.5 cm

カーペット用はさみ、マザリシャリフ、鉄、L 37.0 cm

ナイフ、チャーリカール、木・鉄、L 26.0 cm

2

## 矢野原 佑史 《Polyphonic Mono-Logues》

ナン (パン) の孔開け、ホールム (タシュクルガン)、木、H 22.0 cm

3

## 中島 明日香 《perspective——モノの存在》

下駄、ジャレーズ、木、L 26.0 cm

洗濯用叩き棒、ジャレーズ、木、L 43.0 cm

つむ、クンドウズ、木、L 32.2 cm

筥の飾り板、イスタリフ、木、H 31.3 cm W 10.0 cm

4

## 河野 愛 《収藏品ホームステイログ》

小鉢、ヘラート、ガラス、H 6.0 cm

小鉢、ヘラート、ガラス、H 4.0 cm

小フラスク、ヘラート、ガラス、H 7.2 cm

小瓶、ヘラート、ガラス、H 11.4 cm

コップ、ヘラート、ガラス、H 8.0 cm

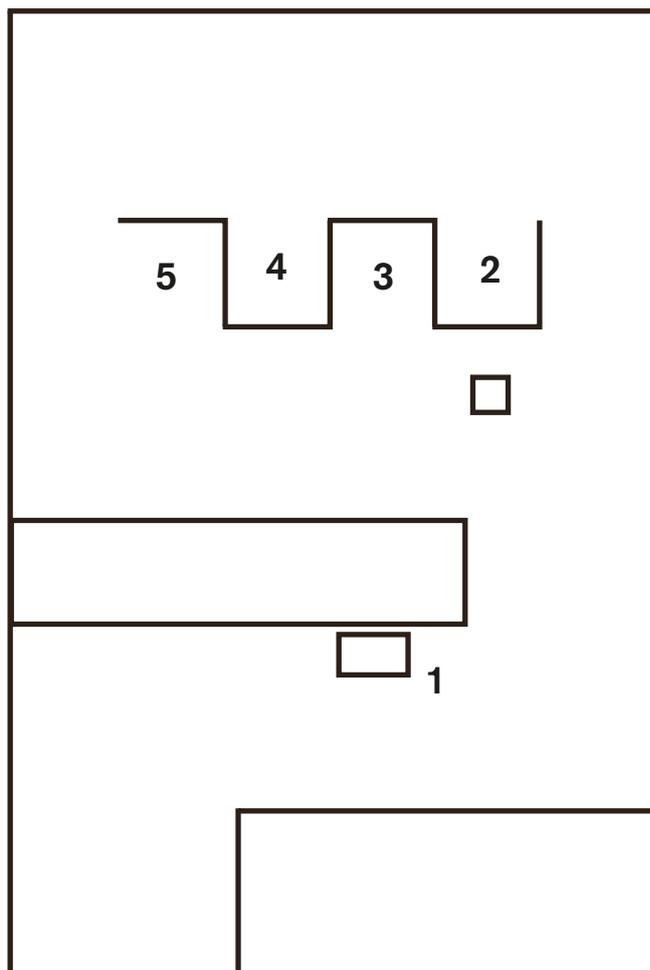
コップ、ヘラート、ガラス、H 5.5 cm

5

## 増田 和子 《「曖昧さ」で隔てを越える》

薬缶、カズニ、銅、H 19.0 cm W 14.7 cm D 18.5 cm

ギリム、クンドウズ、羊毛、H 265.0 cm W 205.0 cm



主催：京都市立芸術大学 助成：平成29年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

企画：河野愛、中島明日香、増田和子、矢野原佑史（状況のアーキテクチャー2017プロジェクト1「物質+感覚民族誌」受講者）

監修：佐藤知久（京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授）、藤田瑞穂（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA学芸員）

プロジェクトマネジメント：西尾咲子（「状況のアーキテクチャー」シニアプログラムコーディネーター）